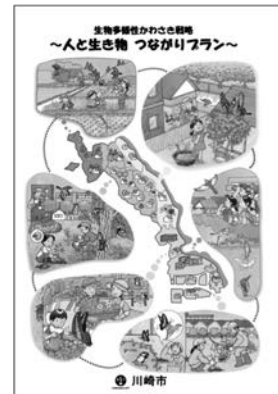


生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～の策定

本市では、2014年3月に川崎市の地域特性を踏まえた生物多様性保全の取組を推進するため、「多様な緑と水 人や生き物がつながり 都市と自然が共生するまち かわさき」を基本理念とする「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」を策定しました。このプランでは、人と生き物との“つながり”に主眼をおいて、3つの基本方針（人と生き物をつなげる、生き物をつなげる、情報をつなげる）のもとリーディング・プロジェクトや基本施策を掲げています。



【主なリーディング・プロジェクト】

2014年4月から、身の回りの自然に目を向けるきっかけづくりとして、また、市域の生き物情報の収集と蓄積をはかることを目的として、市民の方々から身近な生き物の情報を募集し、地図情報としてわかりやすく発信する「川崎生き物マップ」を作成し、運用を開始しました。

<http://kawasaki.geocloud.jp/webgis/biodiversity.html>



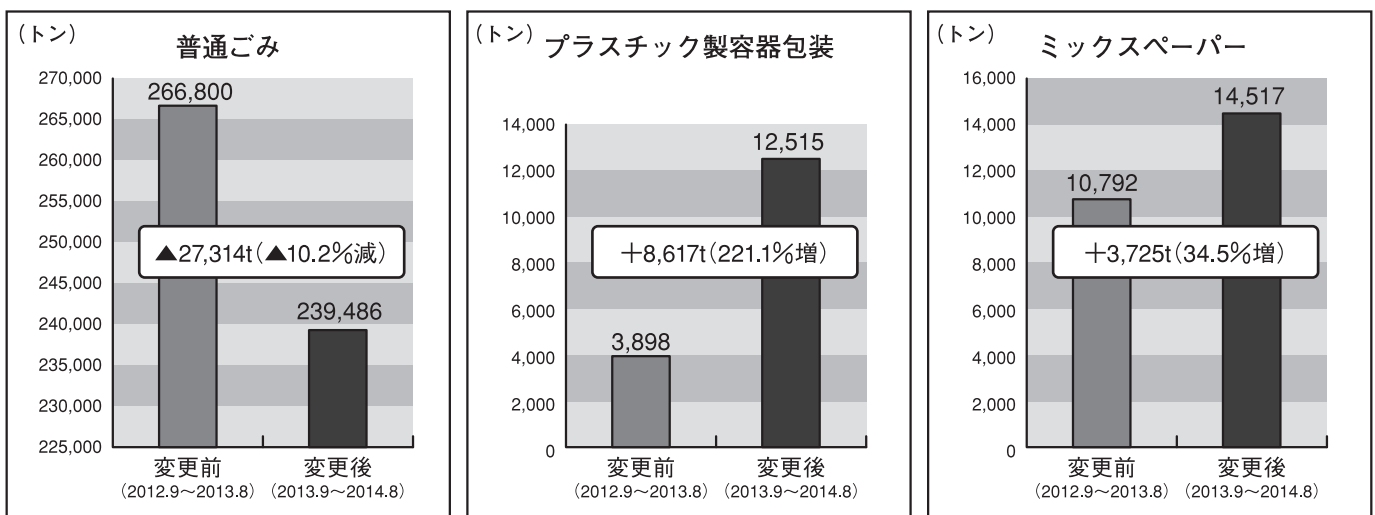
市民の協力により ごみが大幅に減量～ごみの収集体制の変更から1年～



2013年9月にプラスチック製容器包装の分別収集の全市実施及び普通ごみの収集回数を変更しました。変更前（2012年9月～2013年8月）と変更後（2013年9月～2014年8月）の1年間の収集量比較を次のとおり取りまとめました。



【収集体制変更前後の普通ごみ・資源物収集量の増減比較（前年比）】



収集体制変更後は、変更前に比べて普通ごみが27,314トン、約10.2%減量しました。

また、全市実施したプラスチック製容器包装のみならず、ミックスペーパーについても相乗効果で大幅に増加し、資源化量が合わせて12,342トン増加したところです。

なお、普通ごみの減量分が、ミックスペーパー・プラスチック製容器包装の増加分を14,972トン上回って、約5.6%の発生抑制効果が見られました。